

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 1 月 28 日

上場会社名 **株式会社ケーズデンキ**

（コード番号：8 2 8 2 東証第 1 部）

（URL <http://www.ksdenki.com/>）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 加 藤 修 一

問合せ先責任者 役職・氏名 執行役員秘書室長 橋 本 順四郎 TEL：(0 2 9) 2 2 6 - 2 7 9 4

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有・無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日）

### （1）売上高（百万円未満切捨）

期	項目	売 上 高	
		百万円	%
平成 16 年 3 月期第 3 四半期		165,266	( - )
平成 15 年 3 月期第 3 四半期		-	( - )
(参考)平成 15 年 3 月期通期		194,936	( - )

（注）1. パーセント表示は、対前年同期増減率であります。

2. 当期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

### （2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

### [ 売上高に関する補足説明 ]

当第 3 四半期における我が国経済は、株式市況の持ち直しや景気の底打ちを示す経済指標が出始め、わずかながら回復の兆しが見えてきましたが、依然としてデフレ圧力が解消されない中、企業業績の回復も外需やリストラ依存から脱却できず、内需低迷、為替リスク等により、相変わらず不透明な状況で推移いたしました。

当家電販売業界では、10月1日から家庭系パソコンのリサイクルシステムが開始され、また、12月1日から3大都市圏で地上デジタル放送が開始される等大きな話題がありました。そうした中で、所謂デジタル家電は引き続き堅調な伸びを示しましたが、11月に入り暖冬の影響による暖房機器の不振等が見られ、全体としては厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループでは2003年のスローガン「本当の親切」を顧客の目線に立って押し進め、既存店については、現在人気となっている「薄型テレビ」の売場拡充等の改装を図り、また直営店として埼玉県に「鴻巣パワフル館」、FC店として兵庫県に「北神戸鹿の子台パワフル館」、北海道に「静内パワフル館」を新たに新店いたしました。その結果、売上高は1,652億66百万円となりました。

## 3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

### [ 業績予想について ]

今後の我が国経済では、依然景気の先行きが不透明な状態で消費者の消費行動も総体的に横這い状態を続けるものと思われ、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループにおける当該四半期の業績は概ね計画通りに推移しており、業績予想に修正はありません。

### [ 業績等の予想に関する注意事項 ]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上